

第2次城陽市健康づくり計画 〈健康じょうよう21〉

平成26年度～平成35年度
(2014年度) (2023年度)



みんなが笑顔！からだも ころも いきいきと！！

城陽市では、第1次城陽市健康づくり計画（健康じょうよう21）を平成15年3月に策定し、健康づくり活動を行ってきました。この計画の最終評価では、目標項目の約6割に改善がみられました。

近年、城陽市では全国と同様に、急速な人口の高齢化や生活習慣の変化により、高血圧症・脂質異常症・糖尿病などの生活習慣病が増加し、疾病構造は大きく変化してきました。これに伴い、虚血性心疾患や脳血管疾患、糖尿病の合併症などを引き起こすことで、医療費が増大し、また、介護が必要な人が増加しています。

この第2次城陽市健康づくり計画は、第1次計画の最終評価や新たな健康課題を踏まえ、これまでどおり生活習慣病などの予防に重点を置くとともに、重症化予防も重視したものとします。

城陽市では、『みんなが笑顔！からだも ころも いきいきと！！』をスローガンに、健康寿命をできる限り延ばしていくことをめざします。

城 陽 市

平成26年（2014年）3月

計画の概念図

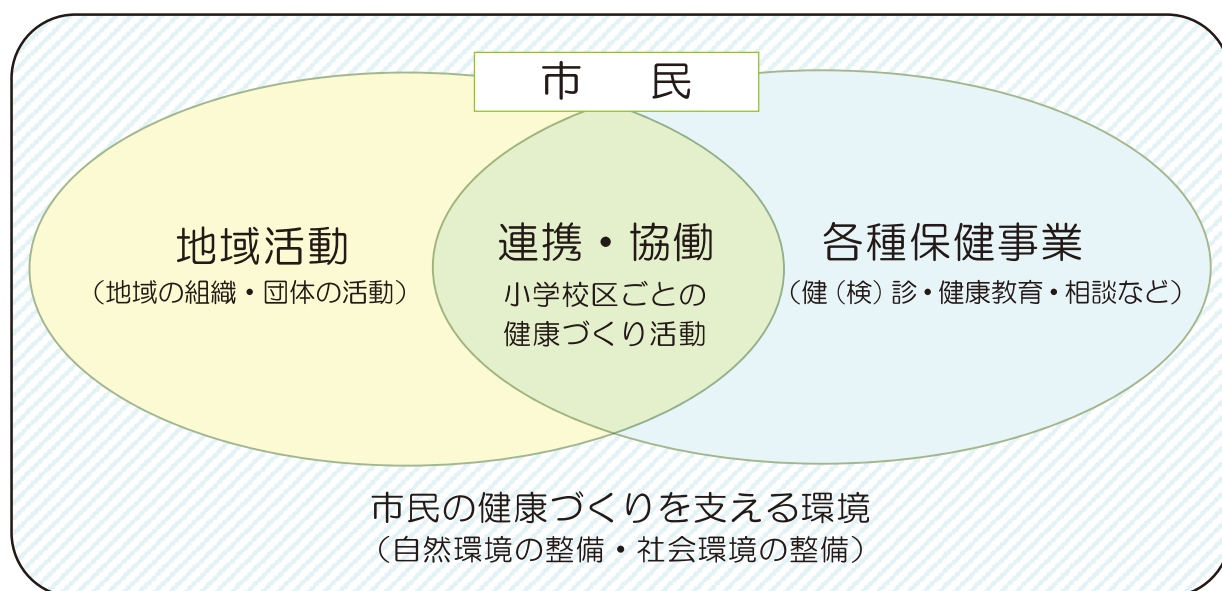
みんなが笑顔！ からだも こころも いきいきと！！

目 標 : **健康寿命の延伸**

生涯を通じた健康づくり（ライフステージに応じた健康づくり）の推進

《重点的な取り組み》

- 生活習慣病予防・重症化予防
- がんの予防
- こころの健康づくり
- 歯・口腔の健康



健康づくりは市民が主体であり、市民自ら健康づくりを実践していくための支援を行う必要があります。

城陽市では、市民一人ひとりの健康づくり活動を支援すると同時に、小学校区ごとの健康づくり活動により、生涯を通じた健康づくりの推進を図り、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸をめざします。

生活習慣病予防・重症化予防

【妊娠期】

○生活習慣を整えましょう

やせすぎてもいけないし、太りすぎも心配

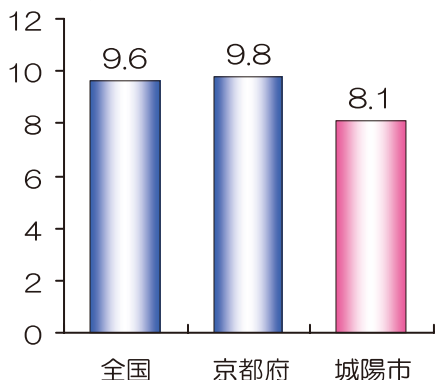
妊娠中は胎児の健康的な発育に必要な栄養を確保するため、必要とするエネルギー量が増えます。過度なダイエットにより妊娠中の体重増加が不十分である場合、低出生体重児となるリスクが高くなります。

一方、エネルギーの過剰摂取は過度の体重増加となり、血圧・尿・血糖に異常が起こりやすくなります。

妊娠期間中のやせすぎ、太りすぎには注意し適切な体重のコントロールに努めていきましょう。

■ 低出生体重児の状況

(出生百対)



※低出生体重児とは、出生時2,500g未満の新生児をいいます。

資料：人口動態調査（厚生労働省、平成23年）
京都府保健福祉統計（平成23年）

妊娠中の体重増加の目安

適正な体重増加量（望ましい体重増加量）は、妊娠前の体格（BMI）によって異なります。

表を目安にしましょう。

BMI	体格区分	妊娠期全期間を通しての推奨体重増加量
18.5未満	やせ	9～12kg
18.5以上25.0未満	ふつう	7～12kg*
25.0以上	肥満	おおよそ5kgを目安**

* 体格区分が「ふつう」の場合、BMIが「やせ」に近い場合には推奨体重増加量の上限側に近い範囲、「肥満」に近い場合には推奨体重増加量の下限側に近い範囲の体重増加が望ましいです。

**BMIが25.0をやや超える程度の場合は、おおよそ5kgを体重増加量の目安とします。BMIが25.0を著しく超える場合には、他のリスクなどを考慮しながら、個別に対応する必要がありますので、医師などに相談することが望ましいです。

自分のBMIを計算してみましょう。

○私の妊娠前のBMI（体格指数）は、

体重 kg ÷ 身長 m ÷ 身長 m = BMI

バランスのよい食事 ～子どもから大人まで～

副菜

野菜・きのこ・海藻などを使ったおかず

1食に2品入れる。
汁物は、野菜をたくさん入れて具たくさんにすると、野菜もとりやすくなります。また、汁けが少ないので塩分も控えめになります。

主食

ごはん・パン・めん類

毎食、ごはん・パン・めん類のいずれかは食べるようにしましょう。
主食を極端に減らすことや、菓子類・菓子パンなどを主食代わりにするのはやめましょう。

主菜

魚・肉・卵・大豆製品などを使ったおかず

基本は、1食に1品入れる。
魚・肉・卵・大豆製品をまんべんなくとるように心がけましょう。

牛乳・乳製品



カルシウム・たんぱく質がたくさん含まれています。牛乳が苦手な人は、ヨーグルトやチーズを代わりに食べましょう。

果物



ビタミンC・ミネラル類が豊富。
間食にとることをおすすめします。

※妊娠中期は、主菜・副菜・果物を、妊娠末期・授乳期は、主食・主菜・副菜・牛乳・乳製品・果物を少し増やしましょう。

【乳幼児期】

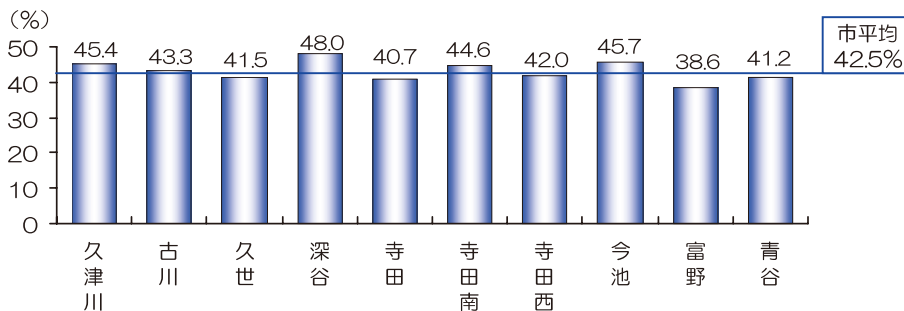
○基本的な生活習慣を身につけましょう

♡生活リズムの状況♡

子どもが健やかに育つためには、早寝早起きの規則正しい生活リズムを身につけることが大切です。

生まれたばかりの頃は、睡眠リズムに昼と夜の区別がありません。生後3～4か月で昼と夜の区別がつくようになります。この時期に、朝明るくなったら太陽の光を浴びさせ目覚めさせること、夜は暗くして寝かせることを続けることが大切です。このようにすることが、早寝早起きの規則正しい生活リズムを身につけることとなります。

☆午後9時までに寝て午前7時までに起きる3歳児〔校別〕



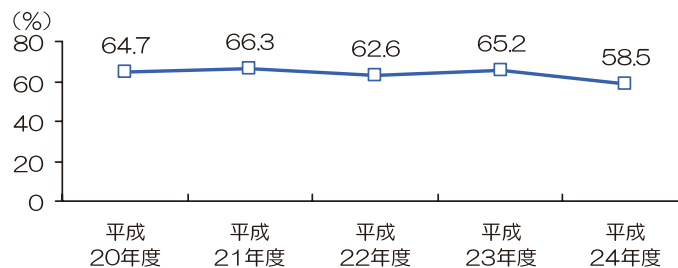
資料：城陽市3歳児健診の問診票集計（平成20～24年度平均）

♡外遊びの状況♡

幼児期は、運動機能が急速に発達する時期です。この時期に外で身体を使った遊びをすることにより、体力がつき、瞬発力、持久力が養われます。また、思考力や創造性も育ちます。

将来の生活習慣病を予防するためにも、子どもの時から基本的な運動習慣を身につけることや、身体づくりをすることは重要です。

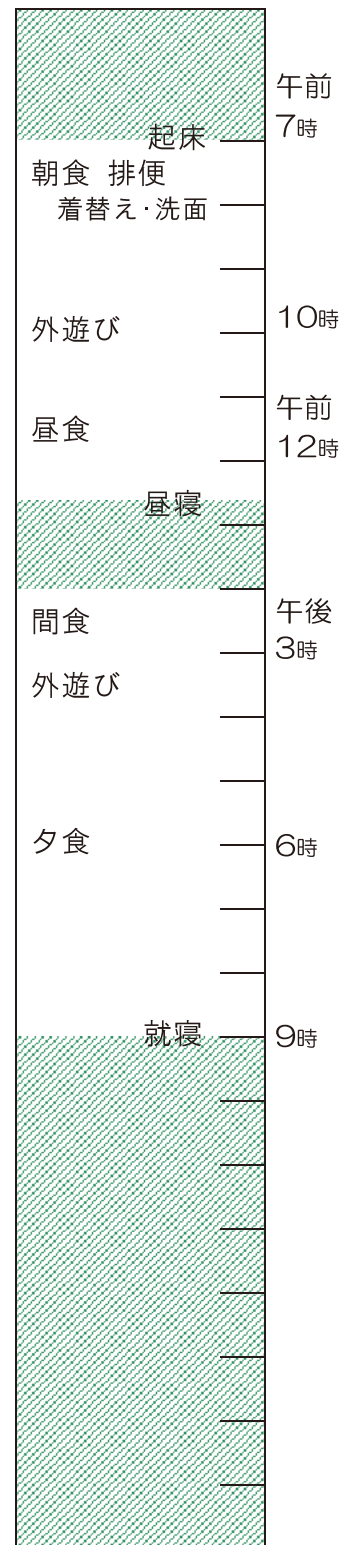
☆1日2時間以上外遊びをする3歳児の割合



資料：城陽市3歳児健診の問診票集計（年度末現在）

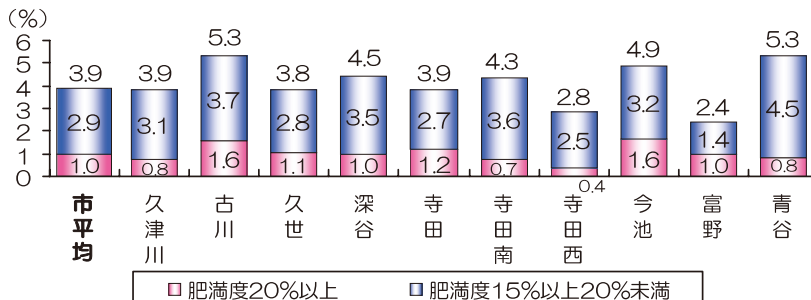


望ましい生活リズム(例) (3歳児)



肥満の状況

☆3歳児健診での肥満の子どもの割合〔校別〕



※肥満度15%以上20%未満、肥満度20%以上の各割合は小数点第2位で四捨五入しているため、端数処理の関係で、合計値が合わないことがあります。

※肥満：肥満度15%以上

肥満度とは、標準体重に対して、実測体重が何%上回っているかを示す数値です。

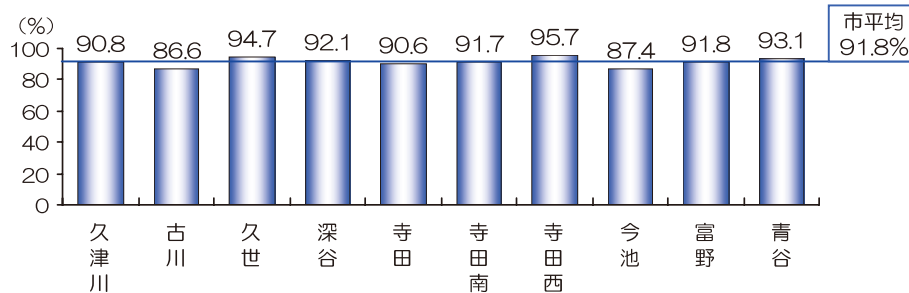
幼児では、肥満度15%以上が肥満と判定されます。

資料：城陽市3歳児健診の問診票集計（平成20～24年度平均）

♡朝食を必ず食べる子どもの割合の状況♡

朝食には、体と脳を目覚めさせる役割があります。朝起きた時は、体や脳の活動が低下していますが、朝食を食べることにより、体や脳が目覚め、元気に遊ぶことができるようになります。

☆朝食を必ず食べる3歳児の割合〔校区别〕

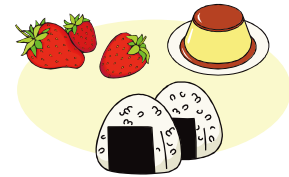
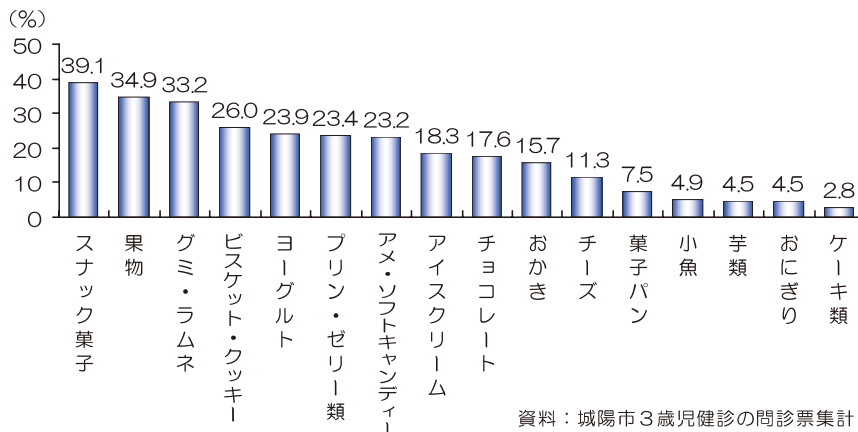


資料：城陽市3歳児健診の問診票集計（平成20～24年度平均）

♡おやつの内容♡

幼児期のおやつ（間食）は、3回の食事では足りない栄養素等を補給するために必要なものです。内容としては糖分や油分、塩分が少なく、ビタミンやミネラル等の栄養素が多い食べ物が望ましいです。季節の果物、牛乳・乳製品、穀類、いも類、豆類などを利用することが理想的です。市販の菓子は、糖分や油分を多く含んでいるために摂りすぎると肥満につながります。

☆3歳児のおやつの内容

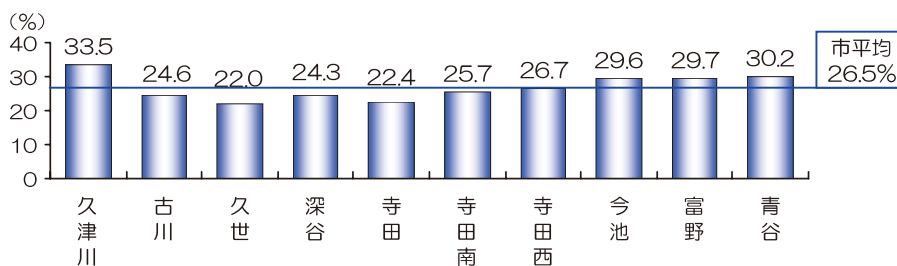


資料：城陽市3歳児健診の問診票集計（平成24年度）

♡ジュースや乳酸菌飲料の飲用状況♡

ジュースや乳酸菌飲料には、砂糖や果糖が多く含まれています。とりすぎは、肥満につながるだけでなく、将来の生活習慣病の原因にもなります。

☆ジュースや乳酸菌飲料をほぼ毎日飲む3歳児の割合〔校区别〕



資料：城陽市3歳児健診の問診票集計（平成20～24年度平均）

飲み物の中の糖の量は？



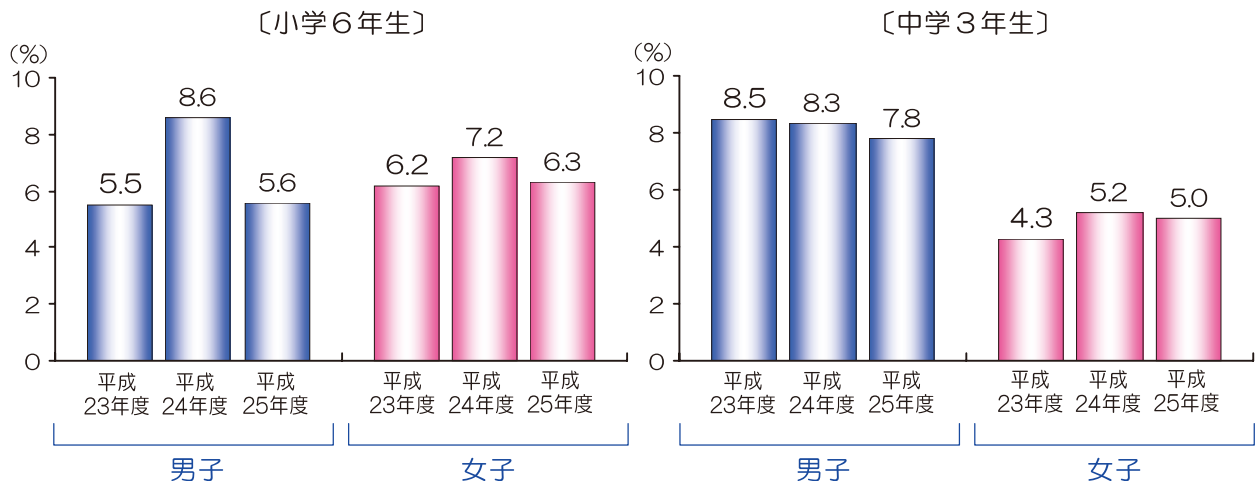
飲み物の種類	目安量	100mL中の糖の量
イオン飲料、スポーツ飲料	100mL	約5g～7g
のむヨーグルト、加糖ヨーグルト	1本 80～100mL	約9g～13g
天然果汁	100mL	約12g
乳酸菌飲料	1本 65mL	約10g

【学童期・思春期】

○基本的な生活習慣や健康に関する知識を身につけ実践しましょう

学童期・思春期の肥満は、成人肥満に移行する可能性が高いと考えられています。また、肥満度が高いと、高血圧症や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病を発症する可能性が高くなるため、子どもの頃からの肥満予防が大切だと考えられています。

■ 肥満度20%以上の児童・生徒の状況



※肥満度とは、標準体重に対して、実測体重が何%上回っているかを示す数値です。学童期では、肥満度が20%以上の場合、肥満と判定されます。

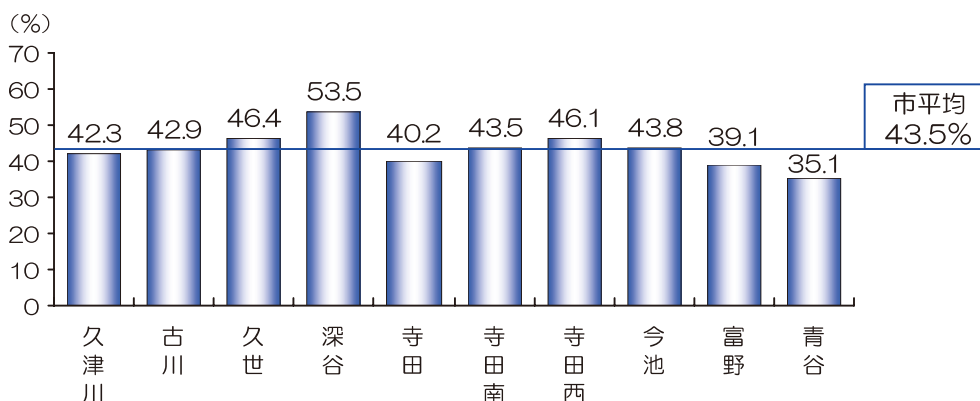
資料：城陽市小中学校定期健診結果

【成人期・高齢期】

○健診を受けて自分の健康に関心を持ちましょう

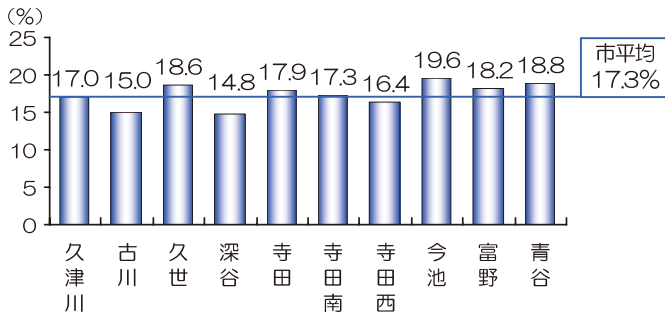
増え続ける生活習慣病。そのほとんどに自覚症状がありません。
健診の第一の目的は、そのような生活習慣病の早期発見です。
過剰に蓄積された内臓脂肪は高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病の共通する原因であることがわかっています。

■ 城陽市特定健診受診率〔校区別〕



資料：城陽市特定健診結果年度集計（平成24年度）

■ メタボリックシンドローム該当者の割合〔校別〕



資料：城陽市特定健診結果年度集計（平成24年度）

メタボリックシンドロームとは

内臓脂肪症候群といい、内臓脂肪型肥満に加えて、高血圧、脂質異常、高血糖のうちいずれか2つ以上をあわせもった状態であり、内臓脂肪が過剰にたまっていると、高血圧症、脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病を起しやすくなります。

○健診結果から、自分の体の状態を知りましょう

■ 特定健診における有所見の状況

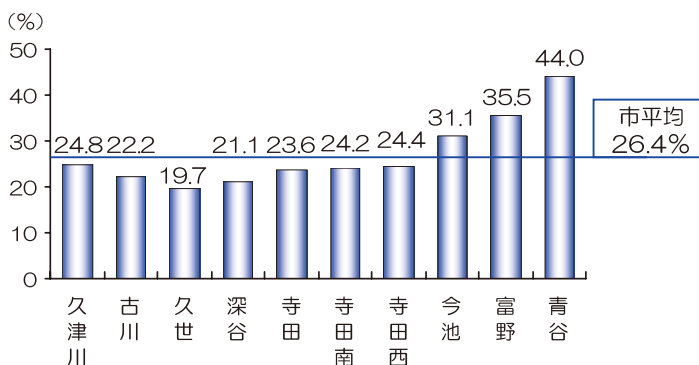
	データ基準	市平均	久津川	古川	久世	深谷	寺田	寺田南	寺田西	今池	富野	青谷
腹囲	男 85cm以上 女 90cm以上	30.3%	29.8%	28.2%	31.5%	27.8%	31.8%	30.8%	26.9%	33.8%	31.3%	33.3%
BMI	25以上	21.0%	23.1%	19.1%	18.4%	17.2%	25.0%	20.0%	21.0%	23.5%	20.3%	25.5%
血圧	収縮期(最高) 130mmHg以上 拡張期(最低) 85mmHg以上	49.9%	49.8%	50.4%	43.3%	43.6%	45.2%	49.6%	48.4%	59.1%	55.0%	61.0%
中性脂肪	150mg/dL以上	22.5%	19.9%	19.1%	22.6%	22.7%	25.7%	25.0%	23.6%	23.4%	19.3%	25.0%
HDL コレステロール	39mg/dL以下	3.9%	3.8%	3.0%	3.9%	4.0%	5.4%	4.8%	2.9%	4.3%	3.1%	4.8%
LDL コレステロール	120mg/dL以上	57.0%	56.4%	59.7%	60.4%	57.9%	56.4%	51.0%	54.5%	55.6%	56.5%	63.3%
HbA1c (NGSP)	5.6%以上	53.0%	51.6%	56.9%	52.4%	49.5%	49.7%	49.6%	54.0%	53.1%	55.3%	61.3%
尿酸	7.1mg/dL以上	8.0%	7.4%	8.5%	7.6%	6.5%	8.4%	8.3%	7.0%	9.8%	8.8%	8.5%
メタボリックシンドローム 該当者		17.3%	17.0%	15.0%	18.6%	14.8%	17.9%	17.3%	16.4%	19.6%	18.2%	18.8%

メタボリックシンドロームでなくても高血圧、脂質異常、高血糖といった状態を放置すると動脈硬化がすすみ、心筋梗塞や脳梗塞、慢性腎臓病から人工透析など重症化に至るリスクを高めます。

◆高血圧症

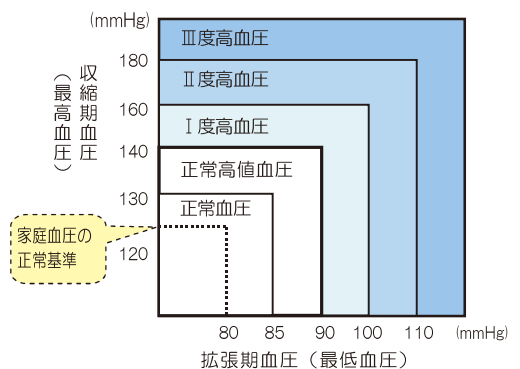
高血圧であると、血管は常に高い圧力をうけることになり血管の内壁が傷つき、動脈硬化をすすめます。

■ 血圧値がI度以上の者の割合〔校別〕



資料：城陽市特定健診結果年度集計（平成24年度）

成人における血圧値の分類について

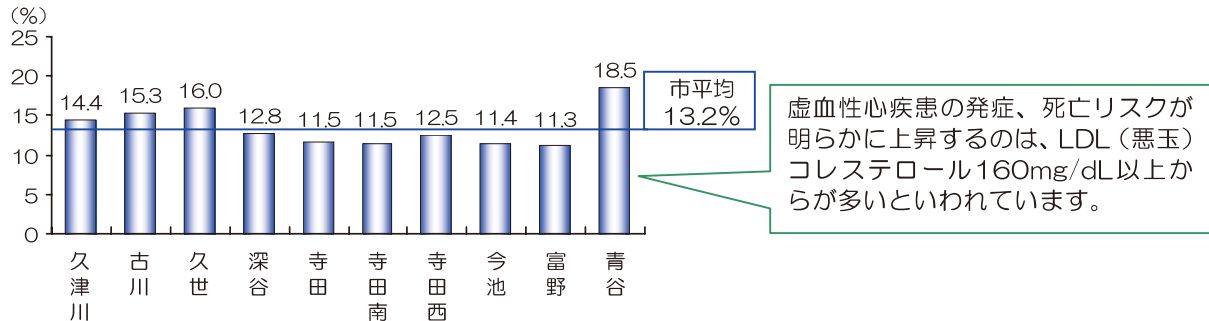


「高血圧治療ガイドライン2009（日本高血圧学会）」を参考に作成

◆脂質異常症

血液中の脂質（LDLコレステロールなど）は、からだに欠かせない物質です。しかし、余分に増えたLDLコレステロールは血管の内壁に入りこみ、血管壁を厚くし、動脈硬化を進めます。

■ LDL（悪玉）コレステロール160mg/dL以上の者の割合〔校区别〕

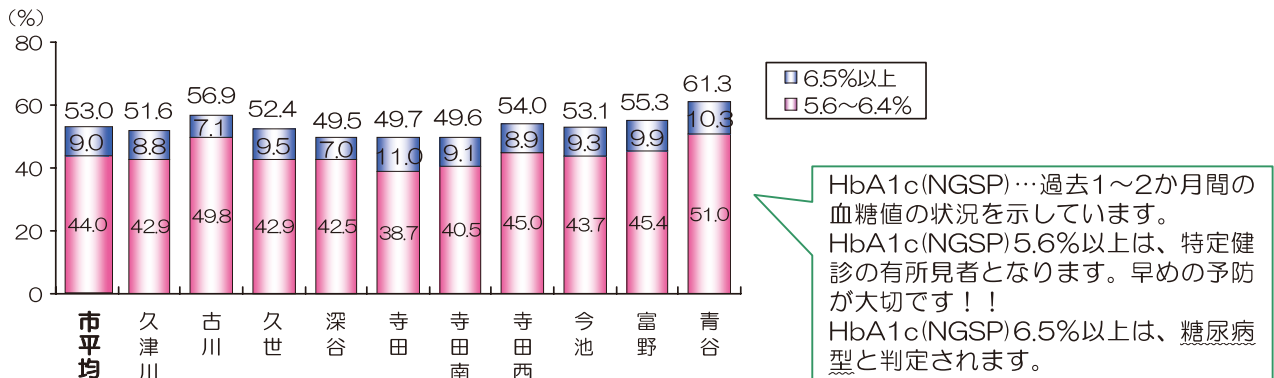


資料：城陽市特定健診結果年度集計（平成24年度）

◆糖尿病

糖尿病の恐ろしい点は自覚症状がないままに、全身の血管を傷つけ、さまざまな合併症を引き起こす点です。成人の失明や人工透析を受ける原因の上位を占めています。

■ HbA1c(NGSP)5.6%以上の者の割合〔校区别〕



資料：城陽市特定健診結果年度集計（平成24年度）

<自覚症状がないから恐ろしい>

高血圧症、脂質異常症、糖尿病は、“痛い”などの「自覚症状がない」ことが多い病気です。

自覚症状がないまま動脈硬化が進み、突然、心筋梗塞や、脳卒中を起こし、日常生活が大きく変わります。

では、どこでこの血管の変化に気づくのか・・・

それは『健診』です。

まずは、①1年に1度は健診を受けましょう。

そして、②健診結果を生活習慣の改善に活用しましょう。



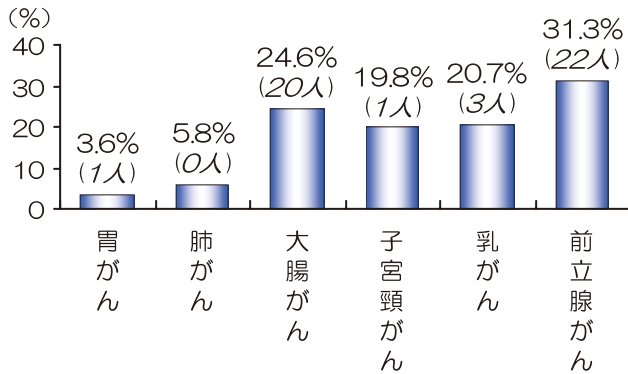
がんの予防

〇がんの早期発見のために、検診を受けましょう

生涯を通じて、2人に1人は何らかのがんにかかるといわれています。
 がんによる死亡を防ぐため最も重要なのは、早期発見です。
 早期のがんは自覚症状がないことが多いため、市や職場のがん検診をぜひ受けましょう！
 受診率が50%以上になると、がんによる死亡を減らすことができるといわれています。

■ がん検診受診率とがん発見者数

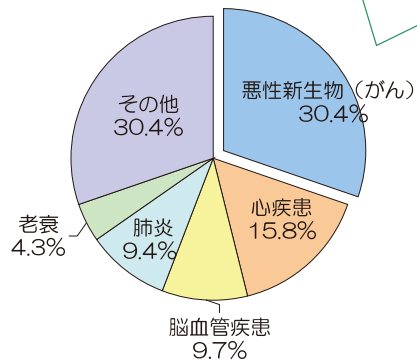
注：() 内はがん発見者数



資料：城陽市各がん検診受診者集計（平成24年度）

■ 城陽市の死亡原因内訳（平成23年）

城陽市の死因第1位は「がん」です。
 3人に1人が、がんで亡くなっています。



資料：人口動態調査（厚生労働省）

〇がんの発症予防のために生活習慣を見直しましょう

がんの発症には、がんに関連するウイルスや細菌への感染、及び喫煙、過剰飲酒、運動不足、肥満、やせ、野菜・果物の摂取不足、塩分の過剰摂取など生活習慣に関連するものがあります。

◆食事

- 野菜は毎食とりましょう
 (ゆで野菜なら片手1杯)



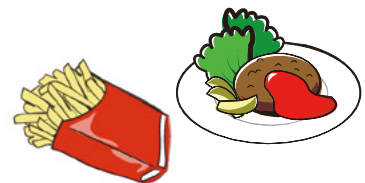
食物繊維は、大腸で発がん物質や有害物質を吸着し体外へ出してくれます。大腸がんの予防につながります。

- 塩分は1日
 男性9.0g、女性7.5g未滿に



高濃度の塩分が胃粘膜を保護する粘液を破壊します。

- 高脂肪食のとりすぎは禁物



脂肪の多い食べ物をとりすぎると多くの胆汁酸が分泌され、発がん物質が増えます。

◆たばこ

たばこの煙には、約40種類の発がん物質が含まれています。また、喫煙はがん発症のリスクとなるだけでなく、虚血性心疾患、COPD（慢性閉塞性肺疾患）への影響もあります。

自分と大切な人のために... 新しく吸い始めない！ 喫煙者は禁煙に挑戦！



こころの健康づくり

うつ病のサインを見逃さないようにしましょう

現代はストレス社会です。誰にでもこころの病気を起こす可能性があります！！
「いつもと違う」と感じたら早めの相談・専門の医療機関への受診が大切です。

うつ病のサイン

◆自分で感じる症状

憂うつ、気分が重い、気分が沈む、悲しい、イライラする、元気がない、集中力がない、好きなこともやりたくない、細かいことが気になる、大事なことを先送りする、物事を悪いほうへ考える、決断が下せない、悪いことをしたように感じて自分を責める、死にたくなる、眠れない

不眠などの睡眠障害が、こころの病気の一症状として表れることが多いといわれています。



◆周りから見てわかる症状

表情が暗い、涙もろい、反応が遅い、落ち着きがない、飲酒量が増える

◆身体に出る症状

食欲がない、便秘がち、身体がだるい、疲れやすい、性欲がない、頭痛、動悸、胃の不快感、めまい、喉が乾く

歯・口腔の健康

歯の喪失の主な原因はむし歯と歯周病（歯肉炎・歯周炎）です。
歯・口腔の健康のためには、乳幼児期からの予防が不可欠です。

歯の正しいみがき方を身につけましょう。



内側もしっかりと
みがきましょう！

1本1本ていねいに

★補助用具も使いましょう！

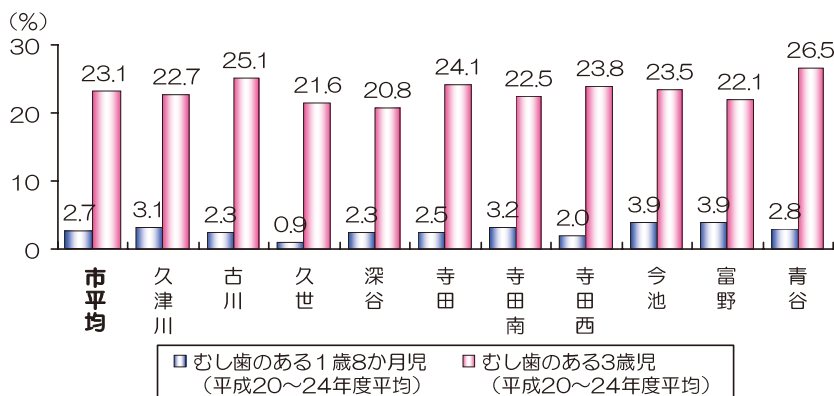


<デンタルフロス>



<歯間ブラシ>

■ むし歯のある1歳8か月児と3歳児の比較〔校別〕



3歳児健診では、
むし歯のお子さんが
増加しています

<8020運動>
80歳で自分の
歯を20本以上
残すことをめざ
しましょう



資料：城陽市各健診受診者集計

定期的に歯科健診を受けましょう！

むし歯や歯周病のチェックや歯みがき指導、歯石除去などが受けられます。

●●● 目標項目と目標値 ●●●

		項目	現状値 平成24年度	目標値 平成34年度
生活習慣病予防・重症化予防	妊娠期	低出生体重児の割合の減少	8.1% (平成23年)	
	乳幼児期	生活リズム(午後9時までに寝て午前7時までに起きる)が整っている3歳児の割合の増加	46.1%	56.1%
		朝食を必ず食べる3歳児の割合の増加	92.7%	100.0%
		ジュースや乳酸菌飲料をほぼ毎日飲む3歳児の割合の減少	22.3%	12.3%
		3歳児健診での肥満(肥満度15%以上)の子どもの割合の減少	4.4%	
	学童期	小学6年生での肥満(肥満度20%以上)の子どもの割合の減少	男子 5.6% 女子 6.3% (平成25年度)	
		中学3年生での肥満(肥満度20%以上)の子どもの割合の減少	男子 7.8% 女子 5.0% (平成25年度)	
	成人期・高齢期	特定健診受診率の向上	41.3%	
		メタボリックシンドロームの該当者の割合の減少	17.3%	
		高血圧の改善 (140/90mmHg以上の者の割合の減少)	26.4%	または
		脂質異常症の減少(LDLコレステロールが160mg/dL以上の者の割合の減少)	男性 9.0% 女性 15.9%	男性 6.8% 女性 11.9%
		糖尿病未治療者の減少(糖尿病治療なし者のうちHbA1c(NGSP)7.4%以上の者の減少)	1.1%	
		糖尿病有病者の増加の抑制(糖尿病治療中の者とHbA1c(NGSP)6.5%以上の者の割合の減少)	11.0%	
	がんの予防	胃がん検診受診率の向上	3.6%	
		肺がん検診受診率の向上	5.8%	
大腸がん検診受診率の向上		24.6%		
子宮頸がん検診受診率の向上		19.8%		
乳がん検診受診率の向上		20.7%		
こころの健康づくり	自殺による死亡率(人口10万対)の減少	男性 28.4 女性 14.6 (平成24年)	 	
歯・口腔の健康	むし歯のない3歳児の割合の増加	78.4%	80.0%	

※成人期・高齢期の現状値・目標値については、城陽市特定健診結果集計(40歳~74歳)を使用しています。
ただし、特定健診受診率は、特定健康診査・特定保健指導実施法定報告結果を使用しています。

資料 各小学校区の状況

【妊娠期】

(単位：%)

	市平均	久津川	古川	久世	深谷	寺田	寺田南	寺田西	今池	富野	青谷
低出生体重児	9.4	10.8	9.6	10.2	9.0	9.4	8.3	6.4	10.4	10.7	8.0

資料：城陽市3か月児健診受診者集計（平成20～24年度平均）

【乳幼児期】

(単位：%)

	市平均	久津川	古川	久世	深谷	寺田	寺田南	寺田西	今池	富野	青谷
午後9時までに寝て午前7時までに起きる3歳児※1	42.5	45.4	43.3	41.5	48.0	40.7	44.6	42.0	45.7	38.6	41.2
朝食を必ず食べる3歳児※1	91.8	90.8	86.6	94.7	92.1	90.6	91.7	95.7	87.4	91.8	93.1
朝食を1人で食べる3歳児※1	5.3	7.3	4.3	5.8	5.4	5.3	5.1	4.6	7.3	5.5	2.0
おやつ決めている3歳児の保護者※1	69.7	71.9	70.1	72.9	71.3	70.8	62.0	72.2	66.8	66.9	71.4
おやつ決めている3歳児の保護者※1	64.6	63.5	58.3	69.9	65.8	67.5	60.5	67.3	68.0	60.4	60.0
ジュースや乳酸菌飲料をほぼ毎日飲む3歳児※1	26.5	33.5	24.6	22.0	24.3	22.4	25.7	26.7	29.6	29.7	30.2
1歳8か月児健診での肥満(カウプ指数が18以上)の子ども※2	4.1	4.7	5.8	1.9	6.0	3.0	4.2	3.5	5.4	3.9	6.2
3歳児健診での肥満(肥満度が15%以上)の子ども※1	3.9	3.9	5.3	3.8	4.5	3.9	4.3	2.8	4.9	2.4	5.3

資料：※1 城陽市3歳児健診の問診票集計（平成20～24年度平均）

※2 城陽市1歳8か月児健診の問診票集計（平成20～24年度平均）

【成人期・高齢期】

(単位：%)

	市平均	久津川	古川	久世	深谷	寺田	寺田南	寺田西	今池	富野	青谷
特定健診受診率	43.5	42.3	42.9	46.4	53.5	40.2	43.5	46.1	43.8	39.1	35.1
腹囲 (男性85cm以上、女性90cm以上)	30.3	29.8	28.2	31.5	27.8	31.8	30.8	26.9	33.8	31.3	33.3
BMI (25以上)	21.0	23.1	19.1	18.4	17.2	25.0	20.0	21.0	23.5	20.3	25.5
血圧 (収縮期(最高)130mmHg以上 拡張期(最低)85mmHg以上)	49.9	49.8	50.4	43.3	43.6	45.2	49.6	48.4	59.1	55.0	61.0
中性脂肪 (150mg/dL以上)	22.5	19.9	19.1	22.6	22.7	25.7	25.0	23.6	23.4	19.3	25.0
HDLコレステロール (39mg/dL以下)	3.9	3.8	3.0	3.9	4.0	5.4	4.8	2.9	4.3	3.1	4.8
LDLコレステロール (120mg/dL以上)	57.0	56.4	59.7	60.4	57.9	56.4	51.0	54.5	55.6	56.5	63.3
HbA1c(NGSP) (5.6%以上)	53.0	51.6	56.9	52.4	49.5	49.7	49.6	54.0	53.1	55.3	61.3
尿酸 (7.1mg/dL以上)	8.0	7.4	8.5	7.6	6.5	8.4	8.3	7.0	9.8	8.8	8.5
メボリックソフト Drink 該当者	17.3	17.0	15.0	18.6	14.8	17.9	17.3	16.4	19.6	18.2	18.8
重症化予防											
血圧値がⅠ度以上の者	26.4	24.8	22.2	19.7	21.1	23.6	24.2	24.4	31.1	35.5	44.0
Ⅰ度(軽症)	21.8	20.3	18.9	17.5	18.4	19.6	21.0	19.2	26.5	29.6	30.0
Ⅱ度(中等症)	3.8	3.8	2.7	2.1	2.4	3.9	2.6	4.0	4.2	4.7	11.0
Ⅲ度(重症)	0.7	0.8	0.6	0.1	0.3	0.1	0.6	1.1	0.4	1.2	3.0
LDLコレステロール 160mg/dL以上の者	13.2	14.4	15.3	16.0	12.8	11.5	11.5	12.5	11.4	11.3	18.5
160～179mg/dL	8.7	9.3	9.8	11.0	8.2	7.6	6.5	8.7	8.1	7.3	11.3
180mg/dL以上	4.6	5.2	5.5	5.0	4.6	3.9	5.0	3.8	3.3	3.9	7.3
糖尿病の治療なしの者の HbA1c(NGSP)6.5%以上の者	4.7	4.7	3.3	5.0	3.4	6.0	5.0	5.2	5.0	4.3	5.9
6.5～7.3%	3.6	3.7	2.8	3.7	2.5	4.7	3.7	3.5	3.6	3.8	4.3
7.4%以上	1.1	1.0	0.5	1.3	0.9	1.3	1.3	1.7	1.4	0.5	1.6

資料：城陽市特定健診結果年度集計（平成24年度）

※表内に示す構成比(%)は、小数点第2位で四捨五入しているため、合計が合わないことがあります。

編集・発行
城陽市福祉保健部
〒610-0195 城陽市寺田東ノ口16番地、17番地
電話 0774-52-1111 (代表)